

今村学園ライセンスアカデミー学校関係者評価書

会議開催日 令和7年3月31日

開催場所 今村学園ライセンスアカデミー本校

評価作成日 令和7年4月5日

委員	在校生保護者	1名
	卒業生保護者	1名
	学園関係団体役員	1名
	今村学園評議員	1名
	同窓会役員	1名

評価項目	評価・意見
重点目標	重点目標について在校生保護者から、人格面の修養について何か取り組んでいることはあるかと質問があり、柔道整復トレーナー学科では、臨床実習時の早朝から校舎周辺のゴミ拾いを、また、衛生課程の学生には、来校者への挨拶励行を徹底するように指導していると回答があった。また、卒業後に柔道整復師として接骨院等へ勤務する場合、患者さんからすぐに「先生」と呼ばれ始めることもあるため、より人格面を磨けるカリキュラムを整備してはどうかとの意見があった。それに対し、校長より、医療人としての人格面の修養は重要な課題であるため、適したカリキュラムを検討していきたいと回答があった。その他の重点目標については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
教育理念・目標	同じく在校生保護者から、学生のコンクールへの参加状況について質問があった。それに対し、校長から調理師科は今年度3人が九州大会に出場したが、残念ながら全国大会へは進めなかったこと、パティシエ科は大阪での全国大会に1名出場し、賞を得たと報告があった。その他の教育理念・目標については、委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
学校運営	卒業生保護者から、学校の事業計画はどのように周知されているかと質問があり、校長から毎年の事業報告はホームページの学校情報（財務諸表）に掲載してあると答えが

	あった。また、さらに教員の充足状況や注力すべき部署などがあるかと質問があり、教員の充足については特に問題はないが、学生の充足率が低下傾向にある栄養士科と柔道整復トレーナー学科の学生募集に注力する必要があると回答があった。加えて、SNSを通した学園の日常生活の発信の具体例について質問があり、Instagramを活用して日々の授業やイベントの様子を定期的に発信していると回答があった。その他学校運営について委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
教育活動	同窓会役員から期末試験における GPA 評価の目的について質問があり、それに対し、本校は、高等教育の修学支援新制度の機関対象校になっており、成績が原則全体の 3/4 以上であることが支給条件であることから、全ての教科において厳密に GPA 評価を行っている校長から回答があった。その他教育活動について委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
学習成果	学園評議員から、就職率に関して 4 科についてそれぞれ求人状況（求人倍率）に差があるかと質問があり、また、退学率低減の取組みとして臨床心理士の活動状況を知りたいと質問があった。それに対し、事務局から全般的に求人はとても多く平均 4 倍程度はありと説明があり、心理士については、入学時に全新生に心理アンケートを行い、希望者には早期に面接を行っていること、また、日常生活では、多くの学生に支援室を居場所として提供することで、校内での人間関係のストレス緩和に役立っていると回答があった。加えて、国家試験や検定試験の合格状況について、また、卒業生を対象とした同窓会の活動状況について同じく学園評議員から質問があった。それに対し、今年度は、製菓衛生師国家試験の合格率はパティシエ科昼間部が 88.9%、通信課程が 84.6%、栄養士科が 91.7%、調理師科が 57.1%であったこと、柔道整復師の国家試験は 2 年間連続で 100%合格となったことが事務局より報告された。また、同窓会は年に一回開催されていることが校長より報告された。その他学習成果については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
学生支援	学校関係団体役員から、メンタル面の支援に力をいれて

	いるとのことだが、具体的にはどのような相談が多いか、その対応についても質問があった。加えて、メンタル面以外での学校医の仕事としてはどのようなものがあるか、インフルエンザの学生の接種希望状況はどうかと質問があった。また、卒業生が管理栄養士を受験することへの支援を行っていることについて、合格実績への質問があった。それに対し校長から、メンタル面の相談は、特に卒業前は、座学・実習の試験への不安、就職活動に伴う不安に対する相談が多く、メンタル面以外では、体調不良による病院受診の相談や怪我の応急処置などが学校医の業務として多くなっていること、予防接種は民間の病院から学園に往診の形で来校してもらい、希望する学生全員に摂取できていると回答があった。管理栄養士試験については、昨年度は、卒業生1名が合格し今年度からその資格で働いていると回答があった。その他学生支援については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
教育環境	卒業生保護者から、クラスの数に対する教室の広さや、机の配置などに問題点はないかと質問があり、それに対し事務局から学生一人の面積は規定通りに確保できおり、また、感染症予防対策の意味からも、なるべく一人一人の机の距離が広がるように配置を工夫していると回答があった。また、同委員から国内・海外研修について本年度の状況や成果及びそれを踏まえた今後の方針などについて質問があった。それに対し副校長から、今年度は国内研修旅行を関東方面として、テーブルマナーや、高級ホテルの様子などを研修したと報告があり、海外研修については、現在の海外の治安状況では時期尚早と考えていると回答があった。また、防災訓練の実施状況について質問があった。事務局より、今年度も避難訓練を計画通りに実施し、避難場所や誘導経路について確認したと報告があった。その他教育環境については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
学生の受け入れ募集	同窓会役員から令和7年度の入学者は前年度と比較してどうであるかについて質問があった。それに対し、事務局から来年度は今年度と比較して減少する見込みであることが報告された。校長から、調理師科夜間コースの募集

	を休止していることも一つの要因であることが補足された。その他学生の受け入れ募集について委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
財務	学園評議員から、財務基盤は安定しているとのことであるが、今年度の収支についての予想について、物価高の影響や、教職員・講師の人件費（賃上げ）に関してどのように検討しているかと質問があった。それに対して事務局から、特に調理師科の実習や、集団給食用の食材の値上がりが顕著であると説明があり、人件費については、大手企業は賃上げ傾向にあるが、大手並とはいかずとも多くの教職員について来年度は昇給の予定があると回答があった。ただし今後は、学園の運営状況に鑑みて慎重に検討をする必要があると校長から追加の回答があった。また、全国的に少子化傾向に歯止めがかからない状況における募集に対する将来対策の検討についても質問があった。募集に対する将来の対策としては、SNS の活用等、昨今の高校生の嗜好に沿った情報発信に注力していきたいと副校長より回答があった。その他財務に関しては、委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
法令等の遵守	学校関係団体役員から、国や県からの監査があると思うが、本年度に実施されたものがあるか、また、その際何か指摘があったかについて質問があった。また、学生の成績など重要書類についての保管はどのようにされているかについても質問があった。加えて、学校自己評価はどのような段階を経て作成されているか質問があった。それに対し副校長から、今年度は監査がなかったこと、前年度には県からの監査が2部門からあり、いずれも概ね法令通りに運営されているとの評価であったと説明があり、重要書類の保管は、安全な学内サーバーにおいてきちんと管理がなされていると回答があった。校長から、学校自己評価は副校長と校長で素案を作成し、理事会による承認を経て作成されていると説明された。その他法令等の遵守に関しては、委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。

社会貢献・地域貢献・国際交流	在校生保護者からボランティア活動について質問があった。毎年1月の指宿での菜の花マラソンなど、コールドスプレーやテーピングのボランティアへの参加があったように思うが、この活動は学生が（スポーツ障害など）現場を知る良い機会になりますねと意見・感想があった。その他のボランティア活動については、事務局より、年2回の平川での農園実習の機会に学生・教職員全員で海岸清掃を行っていること、また、個別では校舎周辺のゴミ拾いを学校主導で取り組んでいることが回答された。最後に校長より、ボランティア活動は、地域貢献と学習機会の両立が期待できる良い機会であるが、メリットデメリットを考慮し慎重に検討していきたい旨が回答された。その他社会貢献・地域貢献・国際交流については特に話題になることはなく、学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
----------------	--

以上